



press release

2021年4月28日

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

第25回手塚治虫文化賞

受賞作・受賞者が決定

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)が主催する第25回手塚治虫文化賞(<https://www.asahi.com/corporate/award/tezuka/>)の各賞が決まりました。贈呈式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、6月3日(木)に朝日新聞東京本社で開催予定です。受賞者の言葉などを収めた「受賞記念動画」と、白熱の最終選考会を振り返る「記者イベント」を、6月25日(金)から無料公開します。(敬称略)



©手塚プロダクション
主催:朝日新聞社

◆マンガ大賞(年間のベスト作品)

『ランド』(講談社) ^{やました かずみ} 山下 和美

◆新生賞(斬新な表現、画期的なテーマなど清新な才能の作者)

^{やま だ かね ひと} 原作:山田 鐘人 作画:アベ ツカサ

『葬送のフリーレン』(小学館)でファンタジー世界の冒険を独自の視点から描いたことに対して

◆短編賞(短編、4コマ、1コマなどを対象に作品・作者)

^{の はら ひろ こ} 野原 広子

『消えたママ友』(KADOKAWA)と『妻が口をきいてくれません』(集英社)に対して

◆特別賞(マンガ文化の発展に寄与した個人・団体)

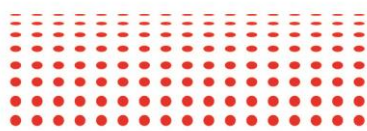
^{ごとうげ こよはる} 吾峠 呼世晴 『鬼滅の刃』(集英社)

幅広いファンを獲得し社会現象を巻き起こした作品の力に対して

>

contact

〈お問い合わせ〉
朝日新聞社CSR推進部内
手塚治虫文化賞事務局
tezukaprize@asahi.com



press release

朝日新聞

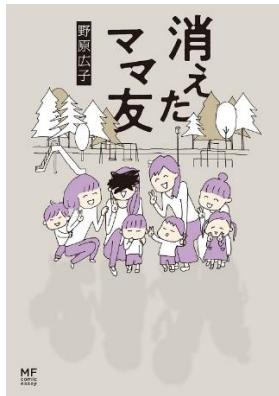
朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2



『ランド』©山下和美／講談社



『葬送のフリーレン』©山田鐘人・アベツカサ／小学館



『消えたママ友』©野原広子(KADOKAWA)



『妻が口をきいてくれません』©野原広子／集英社



『鬼滅の刃』©吾峠呼世晴／集英社

【選考委員】

<社外>(敬称略、五十音順)

秋本 治 (漫画家)

桜庭 一樹 (小説家)

里中 満智子 (マンガ家)

高橋 みなみ (タレント)

中条 省平 (学習院大学フランス語圏文化学科教授)

トミヤマ ユキコ (ライター・東北芸術工科大学芸術学部講師)

南 信長 (マンガ解説者)

矢部 太郎 (芸人・漫画家)

>

contact

<お問い合わせ>

朝日新聞社CSR推進部内

手塚治虫文化賞事務局

tezukaprize@asahi.com



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

<社内>

角田 克(朝日新聞社常務執行役員編集担当)

古知 朋子(東京本社文化くらし報道部長)

◇「受賞記念動画」&記者イベント「白熱の最終選考会を振り返る！」を、6月25日(金)から無料公開します。

受賞記念動画は本社が運営する動画メディア「bouncy(バウンシー)」が制作を担当し、受賞者の言葉や、マンガ大賞の山下和美さんらの仕事場での様子などを収めています。

記者イベントは、第25回の選考委員を務めた里中満智子さん、中条省平さん、矢部太郎さんと、朝日新聞東京本社文化くらし報道部の小原篤記者とで、白熱の議論が交わされた最終選考会の様子を振り返ります。いずれも無料で視聴できますが、記者イベントは事前に朝日新聞デジタルの会員登録が必要です。

さらに、記者イベント視聴後、アンケートに回答された方の中から抽選で25名に、第25回受賞者の描き下ろしや受賞の言葉、すべての社外選考委員の選評などを収めた記念小冊子と記念ピンバッジ(ブラック・ジャック)をセットでプレゼントします。

<公開日時> 2021年6月25日(金)午前9時~(記者イベントは2カ月限定公開)

<公開場所>

●受賞記念動画

→手塚治虫文化賞公式サイト(<https://www.asahi.com/corporate/award/tezuka/>)

●記者イベント「白熱の最終選考会を振り返る! 第25回手塚治虫文化賞」

→応募ページ(<http://t.asahi.com/wkcc>)から申し込まれた方に、後日メールで視聴のご案内をお送りします。イベントに登壇する選考委員への質問も受け付けます。申し込みは公開最終日の8月25日(水)午後10時まで。プレゼントの当選発表は郵送をもって代えさせていただきます。



里中満智子委員



中条省平委員



矢部太郎委員

>

contact

<お問い合わせ>

朝日新聞社CSR推進部内
手塚治虫文化賞事務局
tezukaprize@asahi.com



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【手塚治虫文化賞】

日本のマンガ文化の発展、向上に大きな役割を果たした手塚治虫氏の業績を記念し、志を継いでマンガ文化の健全な発展に寄与することを目的に、朝日新聞社が1997年に創設しました。年間を通じて最も優れた作品に贈る「マンガ大賞」のほか、「新生賞」「短編賞」「特別賞」があり、正賞の鉄腕アトム像(横山宏氏作)＝写真＝と副賞(大賞200万円、その他100万円)が贈られます。



>

contact

〈お問い合わせ〉
朝日新聞社CSR推進部内
手塚治虫文化賞事務局
tezukaprize@asahi.com